

## 各都道府県協会からの要望と回答

### 1. 全日本バウンドテニス選手権大会に対する要望

#### (1)開催および開催場所について

- ① 前年末に体育館の使用日が決定されるため、それ以外の月の体育館の確保が難しい。会場の押さえは大変だと思うが、全日本選手権大会の開催日を、あまり動かさないで欲しい。また、申込締切日を変更しないでもらいたい。(静岡県・兵庫県)
- A. ご存知のように、東京体育館使用の競争率は毎年激しく、特に東京オリンピックを控え激しさは増えています。当協会が日体協加盟競技団体であることで、何とか抑えられている状況です。勿論、毎年7月の土日希望で優先申込を行っています。

#### (2)大会運営について

- ① シニアの部の種目を増やすことを提案したい。現状の60歳以上の部に加え、65歳-70歳以上の部、75歳-80歳以上の部を新設し、全日本シニア選手権大会として単独開催する。全日本選手権大会は、フリーとミドルの部の選手権大会とし、シニアの抜けた分は各都道府県のエントリー枠を増やしたらどうか。(神奈川県・大阪府)
- A. 現状、全日本選手権大会を、フリー・ミドルの部の全日本選手権大会と、シニアの部の全日本シニア選手権大会とに、二分割して開催するには、運営面および資金面等において、大変厳しい現状にあります。但し、本部協会内部において、本件は検討課題の一つとして、捉えております。
- ② 全日本ジュニア選手権大会を単独開催で新設して欲しい。(神奈川県)
- A. 現在、ジュニア層の育成が行われていない県が沢山あり、現時点では上記大会を開催するまでには至っておりません。将来、全国的に広がった時点で、検討したいと思っております。
- ③ 競技開始直後に選手の欠場が判明し繰上げで試合を組まれることがあり、急遽呼び出しを受けた選手にとっては準備もままならないケースを見受けられる。参加賞配布を目的とした県単位の大会受付システムに原因があるように思える。当日欠席の選手を把握するために、選手ごとの受付システムにしたらどうでしょうか。(徳島県)
- A. 全日本で選手ごとの受付は、あまりにも数が多く混乱をまねくため不可能です。通常各県から事前に欠席の連絡がありますが、当日突然欠席もしくは遅刻は把握できません。参加賞の配布数量は事前に把握しています。
- ④ シングルスとダブルスの2種目にエントリーすると、合計8千円となり選手の負担が大きい。千円でもいいので値下げを考えて欲しい。(徳島県)
- A. 少しでも値下げできたらと考えていますが、大会運営費用の都合上、ご協力をお願いします。

#### (3)審判について

- ① 全日本選手権の審判員のレベルを上げていただきたい。(兵庫県)
- A. 東京都をはじめ関東ブロックとしても、大会前に審判講習会を実施し取り組んでいます。関東ブロック以外にも、素晴らしい審判員のご協力を、ぜひともお願いします。

## 2. ブロック大会・ゴールド大会・ねんりんピックに対する要望

### (1) ブロック大会について

- ① ブロック親善交流大会の要項の参加資格を見直して欲しい。特にジュニアの参加について、どのような対応策をとればいいのか教えて欲しい。(神奈川県)
  - A. ブロック親善交流大会へのジュニアの参加は、大人と対戦するのは無理があり、大人もジュニアも気を使いながらプレーし楽しくない場合もある。できればジュニアの部の大会が望ましい。
- ② ブロック予選会の全日本選手権大会出場枠を、現行ダブルス1チームを2チームに、シングルス1人を2人に増やしてもらいたい。(神奈川県)
  - A. 全日本選手権大会の出場枠の拡大は、残念ながらタイムスケジュール的に難しい。

### (2) ゴールド大会について

- ① 全日本選手権大会からシニアの部をはずし、ゴールド大会を全日本シニア選手権大会として開催してはどうか。(神奈川県)
  - A. 現在ゴールド大会は、チーム日本一決定戦としており、継続希望も多く出ている。
- ② ゴールド大会参加者の高齢化が進む中、対策として70歳以上のグラندシニアの部を新たに設けてはどうか。(長野県)
  - A. ゴールド大会での2部門を検討しているが、会場の大きさ、運営スタッフの人数、経費の問題があります。また年齢区分については、一旦細分化に手をつけると備止めが利かなくなる可能性があります。基本的には、現状のゴールド大会の開催要項で進めたいと思います。
- ③ 初期のゴールド大会は、全日本選手権大会に出場した人だけの大会で、ゴールド大会に行きたくてチームで頑張った。今は誰でも参加できる大会になりガッカリした人もいる。初期のように少しハードルの高いゴールド大会があってもいいのではないのか。(大阪府)
  - A. ゴールド大会は、できるだけ多くの60歳以上の皆様に参加していただきたいと考えています。「日本一決定戦」としたことで、トップレベルのシニアの方も集まるようになりました。

### (3) ねんりんピックについて

- ① ねんりんピックを、全日本、ゴールドに次ぐ大会とし位置づけ、その開催都道府県でゴールド大会を開催したらどうでしょうか？(秋田県)
- ② ねんりんピックでのバウンドテニス大会が必ず開催されることを希望します。(熊本県)
  - A. ねんりんピックの競技種目に選定されるためには、各都道府県バウンドテニス協会の働きかけが大事で、昨年の29回までに選定されたのは3度のみである。
- ③ 厚労省主催、開催都道府県が主管協会となり案内するため、各県の動きが悪いので、本部協会がリードしてもらいたい。(静岡県)
  - A. ご存知のように、ねんりんピックでは、開催県において競技種目に選ばれたとしても、実際に参加するためには、各都道府県で派遣種目に選定されなければなりません。各都道府県での個別の判断が入ることから、地元での日頃のハイブづくりやアピールをお願いします。  
また、国民体育大会をはじめとする大会が文部科学省主催なのに対して、ねんりんピックは、ご指摘のとおり厚生労働省の主催となっております。したがって、主催者側へのハイブも今の段階ではないことをご理解いただきたく存じます。

### 3. 指導者研修会、講習会、DVD制作等に対する要望

#### (1) 補助教材DVDの制作について

- ① 必携書に掲載されている、審判員の細かなジャッジに関わるDVDを制作してもらいたい。  
例えば、「ラインぎりぎりの処理」「サービス時の打点の高さのジャッジ」等を図と実際の試合の映像を用い、BTラリー戦・シングルス・ダブルスを含んだ内容を希望する。(静岡県)  
A. 今後の参考にさせていただきます。
- ② 普及活動用・初心者用・中級者用・ジュニア用の各々のDVDを新に制作して欲しい。  
(兵庫県・福岡県)  
A. すでに、ジュニア指導DVD、初心者指導DVD、中級者指導DVDは制作し販売しています。
- ③ 普及活動の指導者用マニュアルやパンフレット・チラシ等の印刷物を制作してもらいたい。  
(兵庫県・福岡県)  
A. 指導委員会で検討します。
- ④ バウンドテニスを楽しむための方法や指導方法、また実施の事例があれば紹介してもらいたい。(福岡県)  
A. 講習会のテーマにリクエストしてください。

#### (2) 指導者研修会について

- ① 資料の字を見やすくして欲しい。(兵庫県)  
A. 大きくするように配慮します。
- ② 指導者研修会や講習会を定期的の実施して欲しい。(鹿児島県)  
A. コーチが出席義務を負う「指導者研修会」は定期的を開催しています。ブロックや県単位での講習会を定期的を開催してください。
- ③ してはいけない指導方法や細かな注意点などの指針があればと思います。(熊本県)  
A. 参考にさせていただきます。

#### (3) 審判講習について

- ① 同じ有資格者でも、審判の技量に大きな差がある。全国平準化のために、3年に1度の更新時に審判講習を実施してはどうか。(徳島県)  
A. ぜひ各都道府県協会で実施していただきたい。

#### (4) 各種教材について

- ① DVDは個人会員が求めやすい価格(千円)にしてもらいたい。(兵庫県)  
A. 現在2,000円前後で販売していますが、販売枚数は年間10枚強です。制作費の70万円を考えると、1000枚近く販売しないと難しい金額です。
- ② 普及活動用のDVD・冊子を作成してもらいたい。(兵庫県)  
A. 三つ折パンフを無料で提供、ジュニアハンドブックは印刷費60円を30円で販売しています。



#### 4. 競技規則および指導委員会に対する要望

##### (1) 試合でのゲーム数について

- ① 5ゲームマッチの導入を検討してもらいたい。ローカルルールでの対応も可能だが、競技規則上での対応が必要となる。(長野県)  
A. ローカルルールで対応して欲しい。
- ② サービス打点の判定をしやすいのため、腰位置にシールを貼っているが、曖昧になっている。主審が判定しやすいよう現行ルールを見直してもらいたい。(福岡県)  
A. 審判が腰の高さを判定しやすいするため、ルールを改定し、足の移動を緩和した。

#### 5. 公認資格登録に対する要望

##### (1) 認定試験の登録申請手続きについて

- ① 認定試験合格してからの、登録申請の事務手続きに時間がかかっている。簡素化は考えていないのか？(東京都)  
※現行申請手続…①合否判定名簿⇒②登録申請書③登録者名簿⇒④振込明細用紙  
A. 合否判定名簿と登録申請名簿を併用したものに变更。
- ② 昨年登録料が上がったため、指導員、審判員両方の資格を更新する場合の更新料は合計7千円(3年間)となる。そのため選手権出場に必要な審判員資格は更新するが、指導員資格は更新しない人がでてきている。新規有資格者および継続更新者を増やすには、登録料値上げは逆効果ではないか。(大阪府)  
A. 本部協会では、一昨年まで更新料1,000円で継続作業を行っていましたが、登録証の発行だけでも大幅にオーバーし、皆様のご理解のもとに値上げさせていただいた経緯があります。

#### 6. 普及活動に対する要望

##### (1) 普及活動について

- ① バウンドテニスの普及策の一環として、ヤクルト飲料の「TVCM」にバウンドテニスを採用はできないものでしょうか？(青森県)  
※スポーツをバックにした、飲料他メーカーのTVCFを視るにつけ思います。  
A. ご存知のように、TVCMの制作費やテレビスポットの出稿費には多くの費用が費やされています。企業や制作者は、商品イメージや広告効果を考えてすすめていますので、なかなか難しい問題です。
- ② もっと研修会や講習会を実施し、指導者の育成に力を入れるべきと考える。(東京都)  
※大会やスキル・技術等を求めすぎている。  
A. 各都道府県の要望に答え、講習会への講師を派遣しています。指導員認定試験の開催、講習会、研修会の実施をお願いします。
- ③ 普及活動の広報サポートはあるのでしょうか。(高知県)  
A. 三つ折りパンフレットの無償提供、ジュニアハンドブックの低価格での販売、ポスターデータの配布などサポートしています。
- ④ 若い人向けのポスターやパンフレットがあれば、各体育館に配布したい。(熊本県)  
A. 三つ折パンフをぜひ活用していただきたい。

## (2)ジュニアについて

① ジュニアの定義はどのようになっていますか。(高知県)

A. 15歳以下です。

### 7. 用具に対する要望

① バウンドテニスをプレーする子供の喜びは、「ボールが打てること」「コートに入ること」「続けられること」にある。特に「コートを使いボールを打つ」時間を増やすために、バドミントンコートを活用したらどうか。バドミントンコートに合わせたネットの広さ等の工夫をして欲しい。(東京都)

A. バドミントン簡易ネットを使用する方法があります。高さも50cmに調整することもできますし、ネット販売で価格も4,000円前後で購入可能です。

② 競争がないせいか、用具・用品がかなり高価である。「人工芝コートの端がすぐ傷む」「ベースラインのペンキが剥げて見難くなる」「ネットの縫い目がすぐ破ける」「ネットボールの金具・ネジが駄目になる」等の改善をお願いしたい。(大阪府)

A. ヤクルト商事では、皆様からのご意見を参考にし、日々商品の改善を目指しています。また、保管方法についても人工芝の芝部分を外側にして保管しますと長持ちするようです。

③ ネットおよびネットボールの金属部品が壊れやすい。部品単位で購入できるようにメーカーに働きかけてもらいたい。(兵庫県・徳島県)

A. ヤクルト商事ではアジャスターだけの販売(2,000円)を行っています。

④ 学童の普及会では大人用のラケットを使用しているが重すぎる。ジュニア用として200～240gの軽量ラケットを商品化してもらいたい。(徳島県・高知県)

A. ジュニアの練習でスポンジボール使用の場合、テニスのジュニア用ラケットが3,000円前後で購入できますのでお奨めします。

⑤ ラケットやボールを安く供給してもらいたい。またスポーツ店で現物を確認しながら購入できるよう改善してもらいたい。(福岡県)

A. 一部のスポーツ店で取り扱ってもらっています。ただし注文が少ないとなかなか置いてもらえません。

⑥ 会員の高齢化が進むと、現行の人工芝の重量だと、コート設営が大変になってくる。人工芝をフロアに固定する方法と併せ、重量の改善をお願いしたい。(福岡県)

A. ヤクルト商事では、持ち運びに便利な簡易コートを販売しています。ぜひご活用ください。